

探究的な学習の質を高める「総合的な学習の時間」の指導の工夫
— 未来につなぐ「職業調べ」から 生き方を探る「職場体験学習」へ —

日立市立平沢中学校

1 はじめに

「職業調べ」は、それぞれがもつ職業の役割や働くことの意義を理解し、生徒自身が、現在の自分と未来の自分とをつなぐ学習の契機となる。また、「職場体験学習」は、体験活動や地域の人々との交流を通して、学ぶ楽しさや成就感、驚きや感動を実感し、生徒一人一人が自己の生き方を深く考える絶好の機会となる。そして、この一連の学習は、生徒が多様な考え方をもち他者と関わり合いながら、自己の生き方を異なる視点から考え、将来の生き方についての考えを広め深める単元(教材)となり得る。

以上のことから、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざすために、標記のテーマを設定し、探究的な学習の質を高める指導の実践をまとめ、紹介することとした。

2 単元について

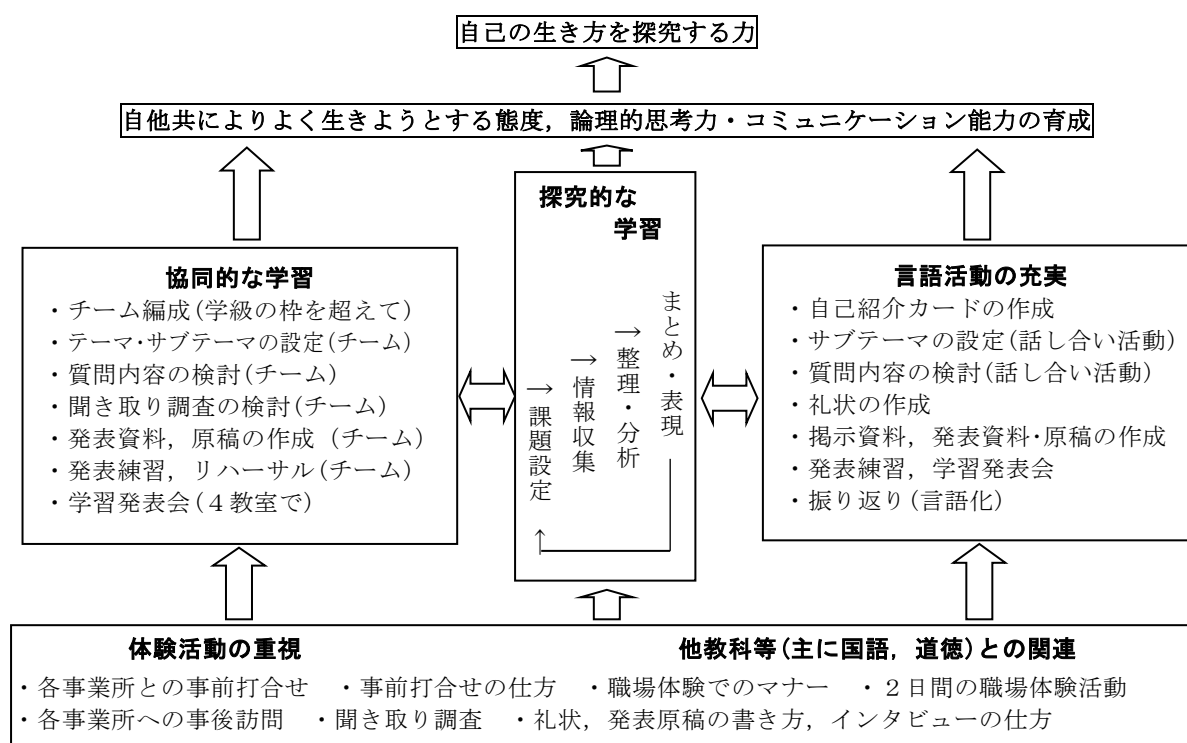
(1) 単元名 平成 27 年度 1 学年「働くということ ～自分を見つめて～」

平成 28 年度 2 学年「生き方を探ろう ～〇〇〇(サブテーマはチームごとに設定)～」

(2) 単元の指導と評価の計画(紙面の都合上、省略 ※データは研究部に送信します)

(3) 単元の構想

探究的な学習を軸に本単元の構想を図式化すると、次のようになる。また、学年の生徒数は、57 名(2 学級編制)であるが、この 2 つの単元においては、学級を解体して 4 学級に再編制し(1 学級 14 名程度)、4 名の教師が指導にあたった。



3 実践事例

(1) 「働くということ ―自分を見つめて―」の実践

- ① 見通しのもとせ方について…単元の1時間目には、ガイダンスを行い、学習シートを配付し、単元全体を俯瞰できるようにした。
- ② テーマ・サブテーマの設定、掲示資料作成の支援について…その職業にふさわしいキーワードを見つけることを指示し、学習シートで例示して支援した。
- ③ 発表資料の作成と発表練習について…次のような学習シートで、発表内容や発表方法、効果的な発表資料作成のポイントや発表練習の仕方等についても支援した。

3 自分の考えをまとめよう。

- ① 「働くということは、……………」 何を学んだのかを明確に！
- ② 「進路適性調査の結果は、……………」 今の自分を見つめよう！
- ③ 「私は、将来、こんな人になりたい。」 将来の自分を見つめよう！

4 発表練習をしよう。→ プレゼンテーション能力を高めよう！

- ① 自分の思いを伝えよう。…相手の心に響くように！
- ② 根拠を明確に伝えよう。…相手が納得できるように！
- ③ 発表の声のスピード、トーン、間の取り方を工夫して伝えよう。…相手が共感できるように！

相手の目を見て！
語りかけるように！

- ④ 保護者対象の発表会(授業参観)の実施について…プレゼンテーション能力を高めるために、中間発表会を経て発表内容の改善点を話し合ったり、チーム相互の発表練習を設定し伝え方の改善点を話し合ったりして発表会に臨んだ。保護者には、アンケート用紙を配付し評価をいただき、学年通信に掲載した。



命を守る車両整備士
～安全を第一に～



情報を正確に伝える
～アナウンサーってどんな仕事～



保護者からの評価(抜粋)

- ・自分たちのテーマとしての考えがしっかりしていて驚きました。美味しい料理を楽しみにしています。
- ・どの仕事でも、コミュニケーション能力が大切だと言っていました。その通りだと感じました。
- ・人を笑顔にする仕事をしたいという思いが伝わってきました。
- ・どうすれば薬剤師になれるのか、しっかりと調べていて頼もしかったです。薬の成分まで調べていて、びっくりしました。
- ・具体的な仕事内容と、やりがいについて、必要な勉強についてなど、仕事への夢が、よりふくらんでいることが、フリップからあふれるような発表でした。
- ・働くということは、「誰かの役に立つこと」という言葉が、すごいと思いました。
- ・“人を笑顔にしていきたい”という言葉が印象的でした。
- ・姿勢、視線が素晴らしかったです。本当のアナウンサーのようでした。
- ・メモを読まずに発表しているのがすごいです。かなり練習をしてきたと思いました。仕事内容もよく分かりました。フリップの文字がとてもきれいでした。
- ・劇を取り入れて説明しているところが、工夫していて良かったです。ホテルマンになるにも、色々な検定があることが分かりました。



- ⑤ 振り返りについて…学んだことや自分(たち)が成長したところを、チームごとに話し合ったり保護者からの評価を活用したりした後、個に戻し、文字言語化した。また、学年通信に掲載した。

生徒の振り返り(抜粋)

- ・働くということについて見つめ直した時、今まで自分が当たり前だと思っていたことの裏側に、たくさんの苦労と努力があるということが分かりました。この学習から、私は、仕事に就いて働くということは、簡単なことではないと思うようになりました。自分になりたいと思う職業に向けて今から努力していきたいです。R.K
- ・仕事は、ただ収入のためにすることだと思っていました。でも、調べてみて、「仕事」というのは、生きるやりがいで、人を笑顔にできるステキなことだと思うようになりました。将来、仕事に就いたら、どんなにいやなことがあっても、仕事に誇りをもち、笑顔でがんばりたいと思いました。A.K
- ・成長したのは、「調べる力」と「伝える力」だと思います。「調べる力」は、何が大切か、何が説明に必要なか、自分が聞く立場になり真剣に考えたことです。「伝える力」は、どの速さが聞きやすいか、どのような強弱をつけたらより伝わるかを、自分たちでアドバイス合ったことです。発表の日には、求められた発表ができました。さらに、大人の「仕事」について知ること、大人に一步近づけたと、僕は思います。S.S

(2) 「生き方を探ろう～〇〇〇(サブテーマはチームごとに設定)～」の実践

- ① 見通しのもとせ方について…単元の1時間目に学習シートを配付し、単元全体を俯瞰できるようにした。今回の発表会は、11月に1年生を対象に行うことを確認した。
- ② サブテーマ設定と、テーマに迫るための質問事項の検討について…7月8日(金)の授業参観では、テーマとサブテーマに迫るための質問内容を話し合うため、学習シートを用いて支援した。また、職種希望調査集約後に、体験先事業所(24事業所)を調整し、生徒の人間関係を考慮して4学級に再編制した。

〈主なサブテーマと質問内容〉

事業所名	～サブテーマ～	事業所への主な質問内容
COO&RIKU (ペットショップ)	～お客様と小さなパートナーの 笑顔のために～	やりがいを感じるのはどんな時？ 動物はどこから仕入れるの？
ましえり(菓子製造)	～お菓子で人を幸せにするには～	なぜパティシエの仕事を選んだの？ 他のスイーツ店に負けないところは？

- ③ 1年生対象の発表会の実施について…1年生には、アンケート用紙を配付し、発表についての評価をもらい、学年通信に掲載した。

- ④ 振り返りについて…次の3項目について文字言語化し、学年通信に掲載した。

- 1 職場体験学習を通して、学んだことはどんなことですか。また、自分が成長したと思うことは、どんなことですか。
- 2 あなたにとって、「働く」とは、どんなことだと思いますか。その理由も書きましょう。
- 3 あなたは、これから、どんな生き方をしたいですか。



～図書館で働く人達の思い～
(日立記念図書館)

生徒の振り返り(抜粋)

- 1 ホテルマンとして、人に対する敬意や感謝について学びました。すぐ行動に移せるようになりました。母の手伝いや、困っている人の手助けをできるようになりました。人のためになることは、とても良いことだと思えるようになりました。 R. F
- 1 「あいさつ」の大切さです。あいさつをすることで、人の心も良くなるということを教えていただき、しっかりとあいさつをしようという気持ちをもつようになりました。もう一つは、一回一回を真剣にやるということです。スタッフの様子を見ていると、僕達に教えてくださる時も、スクールをやっている時も、真剣だったからです。僕も、失敗してもいいから、とにかく真剣にやりたいです。 N. Y
- 1 お菓子作りの仕事は、見た目の華やかさとは違い、裏では地味で大変な作業をして、スイーツの衛生面や包装などの細かい作業にまで気を遣い、お客様を幸せにしていることが分かりました。自分は大ざっぱなところがあるので、細かいところまで気を配ろうとしました。 A. I
- 1 学んだことは、「人との関わり方」や「働くことの大変さ」です。私は、積極的に行動するのが苦手なので、いつも誰かに任せてばかりでした。でも、職場体験では、自分から仕事を探しに行き、積極的に行動することができました。以前の私より成長できたと思います。 R. H
- 1 働いている人の厳しさを知って、苦勞をしないと生きてはいけないということを学びました。自分が成長したと思ったことは、「やるべきことはやる。自分だけでなく他の人のことも考えて動く。」ということです。 T. S
- 2 働くということは、毎日辛い仕事でもこなし続けて、人を笑顔にしたり嬉しい気持ちになってもらったりすることだと思います。仕事は、毎日の努力の積み重ねなのだと思います。接客も同じで、裏側で仕事をする人だけでなく、お店にいる人全員の働きで、お店が成り立っているのだと思います。働いている人全員が楽しそうで、協力していたからです。仲間で励まし合いながら仕事をすることが「働く」ことなのかなと思います。 R. O
- 2 働くということは、人との関わりを大切にすることだと思います。今回の職場体験を通して、職場の人とのコミュニケーションの大切さ、子ども達の気持ちを考える大切さが分かったからです。 R. T
- 2 私にとって働くとは、誰かや何かのためにすることだと思います。誰のためにもならない仕事は、絶対にはないからです。また、自分が働いているということは、自分を含めた家族の生活や生きていくためだと思いました。働くことは、生きるために欠かせない存在だと思います。 S. T
- 2 働くということは、誰かのために何ができるかを考え、最善を尽くすことと、自分の喜び、楽しみだと思います。職場の方は、常にお客様が笑顔になることを考えていて、お客様が笑顔になると職場の方もうれしそうだったからです。私も実際に、お客様のことを考えながら仕事をしていたら、お客様から「がんばってね。」や「ありがとう。」などの声をかけていただいていたうれしかったからです。 Y. K



～お客様の笑顔と健康のために～
(セントラルフィットネスクラブ)

- 2 私にとって働くということは、「自分を磨く」というところでもあると思います。そして、人と関わることで成長することが、働くことだと思います。 R. U
- 2 職場体験では、働くことの大変さ、うれしさを知りました。仕事は簡単ではない辛いことも感じました。でも、お客様の「がんばって」や「ありがとう」などの言葉が、とてもうれしく感じ、頑張ろうと思えました。働く人は身近にたくさんいるけれど、「働く」というとても大変なことを乗り越えているのだと、職場体験で知ることができました。親や親せき、先生に感謝しています。 M. S
- 2 自分の人生の道をつくることだと思います。働くということは、「自分の好きなことをやる」や「社会のために役立つ」などありますが、最終的には、「自分がどのように生きるか＝どんな職でどんな働き方をするのか」で決まるからです。 Y. O
- 2 一緒に仕事を行っている仲間やお客様などのことを考えて行動することだと思います。相手も自分も笑顔で楽しく仕事を行えば、やりがいや頑張った時の達成感が倍になると考えたからです。 Y. S
- 2 人と人とのつながりを広めるということだと思います。私が職場体験活動を行った印刷所では、雑誌を作るということを通して、読者の方や取材先の方とのつながりがあったからです。将来、どのような状況に置かれても、人とコミュニケーションをとり、つながることが大切だと思います。 K. I
- 3 人を笑顔にできるように、相手の気持ちを考えて、どのようにしたら喜ぶのか、どのようにしたら笑顔になれるのかを考えて行動できるようにしたいです。そのためには、自分自身が笑顔でいることが大切だと思います。 M. Y
- 3 人に優しく自分に厳しく、周りに失礼なく気遣いが普通にできる人になりたいです。将来、仕事に就いても、何事にも一生懸命取り組めるようにしたいです。 H. A
- 3 たくさんの人の役に立ち、笑顔にできる生き方をしたいです。なるべく早く将来の夢を決めて、その将来の夢について早く勉強したいです。そして、その仕事に就きながら、いろんな人を笑顔にできるように頑張りたいです。 Y. K
- 3 僕は、今までよりも楽しく健康な生活をして、楽しい仕事もつらい仕事も、両方したいです。今、目指している仕事に向けて勉強して、その仕事に就けるように頑張りたいです。 I. T
- 3 職場体験でも学んだように、自分の夢に向かって、苦勞してでも努力して実現させ、家族や周りの人を幸せにできるような生き方をしたいです。 S. H
- 3 周りの人たちの気持ちが分かり、色々な人たちにとって、欠かせない存在になるような生き方をしたいです。また、自分が周りの人の幸せを、お手伝いできるような仕事をしたいです。 R. K
- 3 常に目標をもちながら、人との関わりを大切に生きていきたいです。 K. S
- 3 自分の選んだ仕事で、どのような職業だったとしても、しっかりと誇りをもって生きていきたいです。 A. S



～食の安全 気配りの日々～
(マルト平沢店)



～お客様に喜んでいただくための菓子製造～
(菓匠たけだ田尻店)

4 成果と課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、探究的な学習を軸に、協同的な学習と言語活動の充実を両輪として授業実践を行い、一定の成果を収めることができた。

「協同的な学習」とは、多様な情報を活用したり、異なる視点から考えたり、力を合わせたり、交流したりして協同的に学ぶことであって、社会に参画したり貢献したりする資質や能力・態度の育成につながると考える。「言語活動の充実」とは、言語活動を問題解決や探究活動の過程に適切に位置づけることである。この言語活動の充実によって、体験から感じ取ったことを分かりやすく表現したり事実を正確に伝達したりする力や、概念や意図を説明したり情報を分析したりする力の育成はもちろんのこと、課題について構想を立て実践し、評価・改善する中で、互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる能力を高めることができると考える。

平成 29 年度(3 学年)は、「先人の生き方を調べ、学んだことを自分の生き方に役立てる」ことをねらいとして、「先人に学ぼう」という単元を設定した。各教科等との関連を図りながら先人を選定させ、研究主題、主題設定の理由等、論文作成の手順を指導し、1 月下旬に研究レポート(1 人 400 字原稿用紙で 5 枚以上)を完成させる予定である。「職業調べ」や「職場体験学習」でまとめた生徒の考えをさらに深めながら、分かりやすくまとめる力、現在の自分と将来の自分とを論理的につなげる力が身に付くように指導していきたい。